

[24_01]九州大学大型計算機センター広報表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1470170>

出版情報：九州大学大型計算機センター広報. 24 (1), 1991-01-25. 九州大学大型計算機センター
バージョン：
権利関係：

連絡所めぐり

今回の連絡所めぐり、連絡所職員の方の写真を送ってこられた鹿児島大学情報処理センターが掲載されています。投稿予定でまだ原稿を提出されていない連絡所の方々、このような紹介の方法もありますよ。これから、VOL. 24, NO. 2以降の原稿を、センターで抜粋した順に各連絡所に依頼しますので、ご協力方お願いします。

26. 鹿児島県立短期大学連絡所

- ・連絡所所在地 〒890 鹿児島県鹿児島市下伊敷町44
鹿児島県立短期大学 一般教育物理学研究室
- ・連絡所の紹介 共同利用の大型計算機の利用者は1名で、電話回線を通じて大阪大学または九州大学の大型計算機に接続しています。他はほとんどパソコン(PC-9801VX2)で間に合わせています。今後は文献検索など学術情報センターの利用が増えるものと思われま

27. 鹿児島工業高等専門学校連絡所

- ・連絡所所在地 〒899-51 鹿児島県始良郡隼人町真孝1460-1
鹿児島工業高等専門学校 電子計算機室
- ・連絡所の紹介 当連絡所は、現在機械工学科の教授が主任となり技官1名とで運営されています。九大大型計算機センターへの登録者は、教授2名、助教授6名、講師3名、助手1名の計12名です。設置されているホストコンピュータは、日立製のHITAC M630/10です。現在公衆回線を通して貴センターの大型計算機を利用させていただいています。モデムをMNPクラス6に変更したため、ノイズでハングアップする事がなくなり利用効率が良くなりましたが、ときどき「話し中」あるいは何回も呼出音がするにも拘らず接続できない事があります。
本校での問題点として、現在設置している計算機は演算速度が1MIPSであり、またユーザーが使用できる最大容量は5MBと性能的に不十分な点があります。
また、鹿児島大学まで来ているN1ネットに、本校の計算機では能力不足のため接続する事ができないという問題が出ています。

28. 都城工業高等専門学校連絡所

- ・連絡所所在地 〒885 宮崎県都城市吉尾町473番地の1
都城工業高等専門学校 電子計算機センター
- ・連絡所の紹介 本校の電子計算機センターは昭和50年に設置され、現在、主任・副主任・事務官の3名で、各学科の協力を得て管理運営に当たっている。計算機

室のホストは、ユニシス社の UNIVAC SYSTEM 11-IIで、EWSは同社のSS-7であり、パソコンは5台(B16EX-III 4台、PC9801RX 1台)配置している。ホストは、豆テスト処理、アンケート処理、学生演習(現在ほとんどパソコンに移行)、学術研究(研究室のパソコンのウェイトが大きい)に利用されている。センター内にあるパソコン演習室には、今春B16EX-III 43台が導入され、授業等に活用されている。大型計算機には、7件の登録があり、各研究室のパソコンとモデムを使用し、公衆回線を介して接続している。

29. 呉工業高等専門学校連絡所

- ・連絡所所在地 〒737 広島県呉市阿賀南2丁目2-11
呉工業高等専門学校 電子計算機室
- ・連絡所の紹介 連絡所は現在、室長1名、室員1名で構成されています。計算機システムが、平成3年3月より新しくなります。新システムは、NEC EWS 4800/220(主メモリ32MB)1台、およびNEC 9801ES5 46台をLANで結んだ分散処理システムです。EWSの増設および、構内LANの新設などが次の課題となっています。

30. 佐賀大学連絡所

- ・連絡所所在地 〒840 佐賀市本庄町1番地
佐賀大学 情報処理センター
- ・連絡所の紹介 情報処理センターは、全学共同利用施設として、学術研究・情報処理教育・附属図書館業務・学生事務(入試処理)関係事務、さらには、学内LANの運営・管理にかかわる様々な情報処理を目的として設置された。現在、学内LAN(全学イーサネット)を布設中で図書館は昨年2月に布設され、理工学部と農学部は本年4月に完成し演習室(パソコン51台)を含め259台のパソコンが接続された。本年11月末には、教養部・教育学部・経済学部でLANが布設され全線が完成する予定で、全学で394台のパソコンが接続される。センターの構成員は、センター長、主事、主事補、技官各1名、技術補佐員3名です。

設置機種

センターシステム: 日本データゼネラル社製 ECLIPSE MV/20000mode12

利用状況 : 科学技術計算, 統計処理, 入試処理, 各大型計算機へのゲートウェイ(N1,FNA)機能, 学術情報センターの文献検索, 学内外電子メール, ワープロ

情報処理演習システム: PC9801UV51台

利用状況 : 情報処理演習用としてセンターシステムの端末及びスタンドアロンによるパソコン教育が行われている。

図書館サブシステム: 日本データゼネラル社製 ECLIPSE MV/7800XP

PC9801RX12台

利用状況 : 学内LANにより研究室等から蔵書検索, 図書館業務

その他増設されたWS, パソコン等

SUN4/1 (主メモリー: 12MB, ディスク: 650MB)

利用状況: 電子メール, ネットワークニュース, サーバー, JAINゲートウェイ

PC9801RX

利用状況: ワープロ, 九大センター端末, 佐大センター端末

PC9801EX 10台

利用状況: 情報処理教育の演習及び自習, 佐大センター端末

FM16β

利用状況: ワープロ, 佐大センター端末

回線の接続状況

回線速度19.2KbpsのQT-NETの専用回線を九大大型計算機センターまで引いている。本学センターの接続環境は, 1本の専用回線をSTDM(統計的時分割多重化装置)を使ってN1(9600bps), FNA(14多重:9600bps), TTY(3回線:9600bps), VTSS(9600bps), SLIP(9600bps)を多重化して利用している。

本学の回線使用状況の特長は3つあり, 1つはTTYの回線で, 学内LANからセンターシステムを経由せずに直接九大を利用できること, 2つめは図書館業務で学術情報センターとの接続(VTSS)を専用回線に相乗りさせていること, 3つめは, SLIPを用いたIP接続により, JAINインターネットワーク実験に参加しており, 広域ネットワーク上で高機能なIPプロトコルを用いたサービスを利用できること。

3.1. 西南学院大学電子計算機センター連絡所

- ・連絡所所在地 〒814 福岡市早良区西新6丁目2番92号
西南学院大学 電子計算機センター
- ・連絡所の紹介 本電子計算機センターは, 研究のサポート及び情報教育推進を目的として1970(昭和45)年に発足し, その後, 処理すべきデータの増加, 情報科学の進歩, 社会的ニーズの変化等に対応するため, 段階的なシステムのグレードアップを行ってきました。1989(平成元)年度のシステム更新においては, メインフレームとしてはHITAC M-660Hを導入し, 計算機システムの処理能力のパワーアップを図るとともに, 次のような機器も新たに設置・増設しました。
 1. UNIX関連機器の導入
 - ・ソフトウェアの開発
 - ・JUNETによる電子メールの交換
 2. 自動運転システムの設置
 - ・夜間の無人運転
 3. SS-NETの導入
 - ・学内LANシステムの構築
 4. 端末装置の増設
 - ・104台(47台増設)

5. パソコン実習室の設置

・65台

構成員は、所長 文学部 教授 菱谷晋介, 主任 経済学部 助教授 相模裕一, 事務室 室長 三島稔, 係長 大賀久夫, 鶴澤寛, 香川徹男, 廣川昭子, 井上裕子の8名です。

利用状況

教育

コンピュータの使用経験がない学生向けの「情報処理基礎」(2単位)と、基礎を修得済みの学生向けの「情報処理応用」(2単位)という講義科目に分かれている。本学は文系大学であるため、講義の内容としてはソフトウェア中心である。

BASIC, FORTRAN, COBOL, およびLISPの各プログラミング言語教育をTSS端末室からの実習をベースとして行う。その上で、統計処理, 経済予測, オペレーションズリサーチ, 事務処理および自然言語処理などの具体的対応例を教える。

研究

ワードプロセッシング, データ入力, 結果の出力, 小規模計算などは各研究所のパーソナルコンピュータやワークステーションで行い, 大規模計算, データベースの利用, 学外ネットワークとの接続などは学内LANを経由して中央のホストコンピュータや高機能ワークステーション群を利用している。

事務

事務処理にも一部計算機を利用している。

3 2. 広島大学特別連絡所

・連絡所所在地 〒730 広島市中区東千田町1-1-89
広島大学 総合情報処理センター

・連絡所の紹介 本センターは、昭和41年8月に全国共同利用特別連絡所として開設されました。現在の職員は、センター長(併任)・次長(助教授)・教官(講師1・助手4・教職員1)・事務官(係長)・技官3・非常勤職員6で構成されています。平成2年現在、広島大学は統合移転途中で広島市と東広島市の二地区にそれぞれ約740㎡, 1000㎡の建物をもち、職員はいずれかの地区に勤務しています。

コンピュータシステムは、HITAC M-680H・3081-KXの2つの中央処理装置(CPU)を配したマルチベンダ方式で構成されており、この2つのCPUは東広島市(西条)キャンパスの建物内に配備され、東千田町・霞・東雲・皆実(広島市)の各地区から通信回線により利用できるようになっている。また東千田町及び西条の両地区のセンターの建物内にキャフェテリアを設け、セルフサービス方式により利用者は直接プリンタ, 磁気テープ装置, XYプロッタ, フロッピーディスク装置等を操作できる。

端末としては、教育用60台, 研究用128台, 事務図書館用55台が設置されている。この端末は標準ワークステーションとして位置付けられ、2つのCPUに接続するためのエミュレータ及び日本語ワープロなどの豊

富なローカルソフトが標準装備されており、更にそれらを統合的に使うためのインターフェースとしてHUMMINGというメニューシステムを開発して提供している。

またソフトウェアとしては、言語、エディタ等のプログラミング用の道具の他、データベース管理システム（HDM）、統計解析システム（SAS）CADシステム（CADAM）、文書清書システム（TEX, SCRIPT/KJ, DRUNOFF）、数式処理システム（REDUCE）など豊富なアプリケーションソフトが研究、教育及び事務処理のために用意されている。

3.3. 広島修道大学連絡所

- ・連絡所所在地 〒731-31 広島市安佐南区沼田町大塚1717
広島修道大学 教務課計算室
- ・連絡所の紹介 日立のHITAC M-660/120Eを1台設置して、教育用端末29台、研究用端末2台、事務用端末18台を接続しています。利用は、教育と事務がほとんどで、研究用には、個人で所有のWS、PCが主に利用されています。
1名の先生が、WSをJUNETと試験的に接続して利用されていますが、利用してみたいという要求は多く、いずれは、共同利用できる方向に進んでいくと思います。

3.4. 福岡女子大学連絡所

- ・連絡所所在地 〒813 福岡市東区香住ヶ丘1-1-1
福岡女子大学 家政学部 家庭理学科 物理学研究室
- ・連絡所の紹介 現在6人が課題登録しています。利用者は、主に家政学部所属で、文献検索、通信等の利用が主ですが、全体的に利用頻度はそう多くありません。センターとは、専用回線でF6681Sディスプレイ制御装置がつながっており、これにF6680、F6650といった専用端末とOPRが各1台ずつぶらさがっています。さらにFM-R50を端末として増設する予定です。
また、今年の情報処理教育施設の更新の際、端末の一部を別棟に移設していただき、これまで、1ヶ所でしか利用できなかった専用端末を2ヶ所で利用できるようになりました。公衆回線による接続は、現在のところほとんど行われていないようです。

35. 宮崎大学連絡所

- ・連絡所所在地 〒889-21 宮崎市学園木花台西1丁目1番地
宮崎大学 情報処理センター
- ・連絡所の紹介 連絡所は、情報処理センターが兼ねています。情報処理センターは、センター長（併任）、センター次長（併任）、技官1名、常勤的非常勤職員1名及び兼任教官6名で構成されています。設置されている計算機は、FACOM M760/6, S4/330 (EWS), A80 (メールサーバ), A60 (ゲートウェイ) で、イーサネットによる学内LANが設置されています。九大センター利用については、大規模の科学用技術計算、グラフィック (GRAPHMAN), 統計処理 (SPSS), 清書システム (ATF), 情報検索, BITNET, N1MAIL等が利用されてきましたが、今回のシステム導入により、かなりの部分が当センター利用に、移行しつつあります。回線の接続状況は、鹿大ノードまで専用回線 (9600bps) で、そこから学情網に接続、N1ネットを介して全国7大型計算機センター、学術情報センター及び若干の共同利用研究所と接続しています。現在連絡所が抱えている問題点は、スタッフが少ないため、ユーザーに対して十分な対応ができていないことです。

36. 第一工業大学電子計算機室連絡所

- ・連絡所所在地 〒899-43 鹿児島県国分市中央1-10-2
第一工業大学 工学部 電子工学科 電子計算機室
- ・連絡所の紹介 現在連絡所としての構成員は、2名 (教員1名、事務1名) で、パーソナルコンピュータを用いたLANシステムでCAI教育が中心となっている。なお、現在 中型または、大型コンピュータの導入に伴う計算機センターの設置を考慮した導入委員会が発足し、今後の導入に期待が持たれている。

37. 福山大学情報処理センター連絡所

- ・連絡所所在地 〒729-02 広島県福山市東村町字三蔵985
福山大学 情報処理センター
- ・連絡所の紹介 主な計算機は、FACOM M-360, 演算速度 3.2MIPS, 主記憶容量32MB, 磁気ディスク装置4台, 日本語ラインプリンター2台 (2,000行/分) XYプロッタ1台 (A3版/ドラム) と、FACOM M-340, 演算速度1.6MIPS, 主記憶容量 12MB, 磁気ディスク装置2台, 日本語ラインプリンター1台 (1,000行/分) で、上記汎用計算機に多数のパソコン端末を接続し、教育・研究に利用している。また、教育用パソコン端末は教育用LANを構成している。その他に、エンジニアリング・ワークステーションS-3/80を10台設置しており、

専用職員3名で運営している。

3.8. 鹿児島大学連絡所

・連絡所所在地 〒890 鹿児島市郡元1-21-35
鹿児島大学 情報処理センター

・連絡所の紹介 IBM-3081KをメインフレームとしVM (Virtual Machine; 仮想計算機) 及びMVS (Multiple Virtual Storage; 多重仮想記憶システム) の二つのOSのもとで運用されている。教育及び研究利用ではVMを利用し、図書館業務及び入試処理ではMVSを利用している。システムの主記憶は32MBで、このうち22MBをVMに、10MBをMVSに割り当てている。パソコン端末162台(このうち26台は附属図書館に導入されている)、専用端末11台、グラフィック端末3台、UNIXワークステーション2台が導入されている。パソコン端末162台のうち51台及び37台は学生教育に利用される端末室に配置され、それぞれの端末室で独立したトークンリングLAN上に接続されている。

鹿児島大学は郡元・宇宿・下荒田の3キャンパスに分かれており、情報処理センターが位置する郡元キャンパス(法文学部, 教育学部, 理学部, 工学部, 農学部, 教養部), および宇宿キャンパス(医学部, 歯学部, 医療技術短期大学部)にトークンリングLANがそれぞれ2ループ, および1ループ敷設されている。また, 情報処理センターと宇宿, 下荒田キャンパスの間は, 384kbps及び192kbpsのNTTスーパーデジタル回線で接続されている。構成員はセンター長(教授, 兼任), センター主任(助教授, 専任), 技官3名, 事務補佐員3名である。

主	セ	技
任	ン	官
	タ	
中	長	西
川	澤	坂
	長	川
		田
		口
		畑
	技	技
	官	官
	高	河
	橋	伊
		野
		尻



情報処理センター職員一同

3 9. 福岡教育大学連絡所

・連絡所所在地 〒811-41 福岡県宗像市大字赤間729
福岡教育大学 情報処理センター

・連絡所の紹介 連絡所の任務は福岡教育大学情報処理センターが担当しており、九州大学大型計算機センター登録者への連絡、広報は、センター事務が一括して行っている。センターは、センター長（教員；併任1名）、教務職員（専任1名）、事務職員（併任1名）この他研究部員（センターに協力する教員組織約20名）で構成されています。現在設置されている主コンピューターは、S-3300（FACOM）、端末機 センター内8台・学内10台（電話回線）、教育用パソコン PC-286 51台（オフライン）で、S-3300の利用者はほとんど教員で、科学技術計算が主である。現在はS-3300を介して九州大学大型計算機の利用が主になっている。教育用としてはオフラインパソコンを利用している。S-3300と九州大学大型計算機センターは専用回線（2.4Kbps）で繋いでいる。当センターは本年度より情報処理センターに格上げとなり、本年度中に汎用機を主とするコンピュータシステムを導入し、学内にはLAN（イーサネット）を構築する予定である。

4 0 福岡女子短期大学連絡所

・連絡所所在地 〒818-01 太宰府市五条4丁目16-1
福岡女子短期大学 一般教育

・連絡所の紹介 現在2名がユーザー登録しています。計算機は教育用にパソコン60台がありますが、端末として利用できる形態になっていないので、実際に使用する時は九大の大型計算機センターまで出かけています。主にANALYST, CGMSやFORTRANを利用しています。電話回線の増設ができれば、パソコンを端末としてセンターと接続したいと考えています。

4 1 山口大学工学部連絡所

・連絡所所在地 〒755 山口県宇部市常盤台2557
山口大学 情報処理センター常盤分室

・連絡所の紹介 山口大学情報処理センターは常盤分室（宇部：常盤キャンパス）、小串分室（宇部：小串キャンパス）、山口分室（山口：吉田キャンパス）と3つの分室から成っており、当連絡所は、工学部及び工業短期大学の連絡所としてセンター内の常盤分室に設置されている。
分室の構成員は分室長とセンター職員2名の計3名で運用している。
現在、計算機はACOS850が導入されているが、平成3年1月には機器が更新されACOS830となり、EWS4800も設置される予定で

ある。大学間ネットワークは学情網に加入しており、また、N1メールの機能も持っている。N1による九州大学大型計算機センターの利用は、主に大きなジョブや統計解析及び電子メールで使われている。回線は現在は順調だが、N1RJEで出力が取り出せなかったり、ゲートウェイの不調があった。こういう場合、どちら側に原因があるのかが早くわかるような連絡体系、対処方法が明確になると運用もしやすくなるのではないだろうか。

(※センターより回答。ネットワーク関係は、ネットワーク掛へお問い合わせください。)

4.2 熊本女子大学文学部連絡所

- ・連絡所所在地 〒862 熊本市健軍町水洗2432-1
熊本女子大学 文学部 教育心理学研究室
- ・連絡所の紹介 大型計算機センターを利用するにあたって1人で開設した連絡所でしたが、現在は4人となりました。センターとの接続はいまだに実現していませんが、必要になれば出張利用の形で使わせていただいています。PC98とFM16βとで処理できるものは処理しますが、大きな容量を必要とする因子分析などの多変量解析は大型計算機で処理しています。データをFDに入れておいて大型にかける形をとるようにしています。
まだおそろおそろ使っている状態ですので、プログラム相談室の援助を仰ぐ事が多くあります。

4.3 徳山工業高等専門学校連絡所

- ・連絡所所在地 〒745 徳山市大字久米字高城3538番地
徳山工業高等専門学校 電子計算機室
- ・連絡所の紹介 電子計算機室に連絡所を設置していて、電算機室長が連絡所責任者を担当しています。登録者は、現在7名います。設置されている計算機は、昭和62年度に新しい計算機システムとして、7台のワークステーション(WS)を主要な計算機として、これらと共に教室・研究室や事務室にある70台以上のパソコンを同軸ケーブルに接続し、解放型分散処理システムが構築されました。これらによって学内LAN(ローカルエリアネットワーク)が形成され、計算機が身近で自由に使えるようになってきました。これまでのような教育・研究のための利用法に加えて、新しく電子メールや電子掲示板による情報伝達やいろいろな教育情報、図書・文献などのデータベースの利用も可能なシステムになっています。
大型計算機の利用は、校内ネットワークを介し、NEWSを通して、第2種パケット交換回線による2回線で行われています。主に、数値計算や文献検索に利用されています。

ライブラリ室だより

— ある小学生の会話 —

放課後の校庭。5人の子供たちがジャングルジムに集まって、何やらお話をしています。

未代: ねえ、ねえ、聞いて聞いて。新しい年になったことだし、私、気分を入れ替えて今年の目標をつくったの。

平吉: ふん。かっこつけてんの。

成美: 私の今年の目標は5K g 痩せることだわ。

三太: お前、成長期に痩せてどうすんだよ。

年夫: で、その目標って何?

未代: うん。今年は一応UTSにも力をいれようと思って。

平吉: (独り言のようにつぶやく) ほほう。MSPのこともよく知らないくせにUTSをやろうなんて生意気な。

年夫: でも、UNIXシステムってわりかしいろんな所で使われているって、本に書いてあったぞ。

未代: そうでしょう?確かに私はMSPのこと、よく分かっちゃいないけど・・・MSPの勉強と並行してUTSもやろうかなと思ってさ。

三太: 両方とも勉強するって大変だぞ。簡単にはいかないんじゃないか。

年夫: でも、UTSって使う人も増えてるみたいだから、先生になってくれる人って、探す結構身近にいるかもしれないぞ。

平吉: うん。うん。そうだよな。

三太: 先生っていえばさ、何だか先生たちの話じゃCLPの利用がまだまだ少ないらしいよ。

未代: それじゃCLPもさぞかし寂しいことだよ。

成美: CLP? ああ、紙が一枚一枚切れてるあれのこと?

三太: 手っ取り早く言うとそれ。カット紙ラインプリンタって本名、ちゃんともってんだよ。

年夫: なんかさ、前に(よく気絶する)Aと(ペンギン好きの)Bが言ってたよな。ほら。

成美: あ、覚えてる覚えてる。でもあの時、CLPって図形しか出ないんじゃないかって思った人がいたりして。

平吉: そんなバカ、どこにいるんだよ。

成美: ここにいるわよ。

三太: まあ、まあ、夫婦ゲンカはやめて。(誰が夫婦なんでしょう)CLPは図形ばかりじゃなくて、計算結果やプログラムリストも出せるって、もちろん知ってるだろう。それにCLPって結構トレンドイなんだぜ。

一同: (首をかしげて)とれんでいい?

三太: 今風ってことさ。広東風や四川風とは違うぞ。

一同: バチバチバチ・・・(なげやりな拍手)

未代: でも、そう言えばそうよね。両面印刷なんかできるし、縦や横の印刷指定も自由だし。そうそう、セバレータなんて色紙だからなんか嬉しいわよね。私って子供みたい。

平吉: 子供だってば。

三太: それにさ、NLPではどうしてもくっついてきてたムダな白紙も出ないし、森林資源の節約につながるぜ。ここが一番トレンドイなんだ。

一同: なるほどねえ。

平吉: でも、目立たないところにあるからな、CLPって。皆な気付かないんだよ。全体をショッキングピンクに塗っちゃったら・・・(変な間) 目立つことは目立つ。(もっと変な間)

年夫: オープンの奥の方だからな。でも、機会があれば僕も使いたいと思うし、もっと沢山の人も使ってもらいたいよ。

成美: たまにリスト出しっぱなしの人がいるみたい。残されたリストがちらかっていることって、結構あるもん。

年夫: いかんなあ、ちゃんと持ってかえらなきゃ。

ビュウビュウ。 「CLPについての詳しいことはセンターニュースNo. 397を見てね。」と書かれたピラがさりげなく子供たちの近くで風に舞っています。

未代: あとね、「利用の手引|バッチジョブ編」がでるらしいよ。

平吉: ふーん。ついにバッチジョブ編も利用の手引として出るのか。

成美: 共同利用掛に行ったらもらえるわよ。おみくじ付きで。

未代: きゃあ! 大凶だったらどうしよう!

平吉: ウソ、ウソ。信じるなよ。

成美: あ、もうそろそろご飯の時間だ。

三太: かあちゃんにしかられる。帰ろ、帰ろ。

年夫: オレもかーえろっと!

その頃、夕日は子供たちの長い影をつくりだしていました。子供たちは、はしゃぎながらそれぞれの家へ帰っていきました。あかね色に焼けた校庭の隅で、ジャングルジムは平吉が残した落書きとともに、朝になると聞こえてくる子供たちの声を待ち望みながら、夜の眠りにつきました。

落書き: ジツハコレ UTSデJATpX ラツカッテ カカレテイルノダ。未代チャン オサキニ。

— つづかない —

(ライブラリ室 内線2508)